

東日本復興支援プロジェクト

ENCOURAGE 日本！公開イベント

Action for Japan!

～今、関西人にできる事。～

あれから約7カ月。東日本では一日も早い復興が望まれている。

今、関西人だからこそ出来ることは何だろうか。

3. 11から共に学び、理解し、助け合う…。

小さなアクションを起こすきっかけがここにあります。

2011年10月22日(土)

日時 13:00～17:00 入場無料

場所 立命館大学衣笠キャンパス以学館4教室

Program

※当日の内容はユーストリームでも配信します。

☆リレー講演会☆

①「共助で備える、京の防災対策」

(13:15～14:05)

京都市消防局防災危機管理室

②「市民の在り方 from 311」(14:05～14:55)

桜井政成 准教授(立命館大学政策科学部)

③「防災に立ち向かう、地域×住民」

(15:10～16:00)

乾亨 教授(立命館大学産業社会学部)

☆学生スピーチ☆

これからの時代を担う学生が「絆」をテーマに
3.11に対する想いをスピーチします。

スピーチを通して日本の未来を共に考えます。

☆東北支援物産展☆

東北支援のためのミニ物産展を開催します。
東北から取り寄せたお菓子や支援グッズを販売します。その場で出来る復興アクション！
ぜひ買い求めください。

主催：ENCOURAGE 日本！（立命館大学国際関係学部・学生有志団体）

連絡先：ENCOURAGE 日本！代表 小倉祐輔 ir0006sh@ed.ritsume.ac.jp

プログラム詳細

2011年10月22日(土) 12:30 開場、13:00 開演、17:00 終演

開場 12:30 (立命館大学以学館 3F・4 番教室)
開演 13:00

第一部 13:15～

①リレー講演会<各講演は40分の発表と10分の質疑応答で行われます。>

講演Ⅰ「共助で備える、京の防災対策」 講師：京都市消防局防災危機管理室

<13:15～14:05>

防災対策における「共助」の必要性について、京都市で古くから活動する「自主防災組織」を例にお話し頂きます。また、地域防災へ学生の関わりが求められている点についても考えます。

講演Ⅱ「市民の在り方 from311」 講師：桜井政成 准教授（立命館大学政策科学部）

<14:05～14:55>

「放射能汚染・災害ボランティア・後方支援」、あの日を契機として私たちは一市民としてこれらの問題にどのように対応すればよいのでしょうか。今後の復興の一助となるために、一人一人が成熟した「市民」となる方法を学んでいきます。

休憩時間<10分～15分>

講演Ⅲ「災害に立ち向かう、地域×住民」 講師：乾亨 教授（立命館大学産業社会学部）

<15:10～16:00>

自然災害における地域住民間の「助け合い」は住民同士の命を救うだけでなく、その後の復興期においても重要な役割を果たします。311後の日本社会における「地域と住民」の在り方とはどのようなものが求められるのかについて考えていきます。

第二部 16:00～17:00

②学生スピーチ・・・これからの時代を担う学生が、「絆」をテーマに「311」への想いをスピーチし、その言葉を通して私たちの未来を共に考えます。（3名の大学生が登壇予定です。）

③支援団体紹介・・・関西で様々な支援活動を行う学生団体をご紹介します、支援へのアプローチを考えるきっかけを提供します。

東北支援ミニ物産展も同時開催!!! (12:30～17:00)

当日、会場外にて東北支援アクションの一環として、ミニ物産展を開催します。

お菓子や復興支援グッズ等を取り揃えてお待ちしております。ぜひお立ち寄りください。

立命館大学 衣笠キャンパス 〒603-8577 京都市北区等持院北町 56-1

アクセス●JR・近鉄京都駅から

市バス 50/快速 205 にて約 35 分、「立命館大学前」下車すぐ。

市バス 205 にて約 35 分、「衣笠校前」下車、徒歩 10 分。